

オブテックス・エフエーCD5 シリーズ用  
三菱電機 Q シリーズ ファンクションブロック用  
タッチパネル簡単操作サンプルプログラム  
リファレンスマニュアル

# 目 次

1. 制限事項 .....	3
2. 注意事項 .....	3
3. 改定履歴 .....	3
4. 概要 .....	4
4.1. サンプルラダー(ダウンロードファイル) .....	4
4.2. CD5 シリーズ対象機種 .....	4
4.3. MELSEC-Q シリーズ対象機種 .....	4
5. サンプルシステムの構成 .....	5
5.1. システム構成(4CH 構成の場合) .....	5
5.2. システム構成(6CH 構成の場合) .....	5
5.3. システム機器構成例 .....	6
5.4. ケーブル結線 .....	6
5.5. ソフトウェア .....	6
5.6. QJ71C24N-R4 の情報 .....	7
5.7. CD5 の通信設定 .....	7
5.8. CD5 通信設定手順 .....	8
6. 画面詳細 .....	9
6.1. 画面一覧 .....	9
6.2. 画面遷移 .....	11
6.3. 画面データ詳細 .....	12
7. デバイス一覧 .....	23
7.1. デバイス一覧(ビットアドレス) .....	23
7.2. デバイス一覧(ワードアドレス) .....	24

オプテックス・エフエー CD5シリーズの設定内容詳細、動作については、

- E080\_CD5\_sensorhead.pdf
- E080\_CD5\_amp.pdf

をご覧ください。

※上記資料はオプテックス・エフエー株式会社のWebサイト

[http://www.optex-fa.jp/selection\\_support/download/index.html](http://www.optex-fa.jp/selection_support/download/index.html)

より入手可能です。(会員登録が必要です。)

## 1. 制限事項

- ・ 一般工業を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で試用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製作されたものではありません。
- ・ この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、重要移動体当の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には当社の営業担当窓口までご紹介ください。
- ・ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失が予測される設備への適用に際してはバックアップ又はフェイルセーフ機能をシステムに設置してください。

## 2. 注意事項

1. 弊社が提供するファイルの知的財産権は、弊社に帰属するものとします。
2. ダウンロードされたファイルやそのファイルから抽出されるデータは、弊社製品の仕様を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
3. 本サービスはお客様の責任においてご利用ください。
4. 本プログラムで動作可能な機種はオプテックス製 CD5 シリーズになります。
5. 本サービスはお客様の責任において改造をおこない使用することは可能ですが、お客様の責任においておこなってください。
6. 改造する場合のお問い合わせに関しては対応いたしかねますのでご了承ください。
7. サンプルラダーは機能を説明した資料です。ユニットやシーケンサの使用上の制限事項、操作説明については記載されていません。ご使用にあたり、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読み頂けますようお願いいたします。

## 3. 改定履歴

改定日	改定内容
2010/09/10	新規作成
2011/05/2	GOT 画面イメージ変更
2011/05/17	CD5 結線修正
2011/05/27	通信設定修正
2011/06/02	QJ71C24N-R4 の通信設定修正 CD5 通信設定手順追加

・ オプテックス・エフエー製レーザー変位センサ CD5 シリーズの通信仕様の詳細については、「RS422 による CD5 センサーヘッドの制御」を参照して下さい。

・ MELSEC-Q シリーズ用 CD5 接続用ファンクションブロックの詳細については「MELSEC-Q シリアルコミュニケーションユニット接続用 FB ライブラリリファレンスマニュアル」を参照してください。

## 4.概要

本サンプルは、オプテックス・エフエーより提供する FB ライブラリを使用したアプリケーションサンプルとなります。これにより三菱 Q シリーズと変位センサを組み合わせたシステムで使用用途に適したプログラムを簡単に作成することができます。

### 4.1. サンプルラダー(ダウンロードファイル)

No	ソフト	プロジェクト名	説明
1	GX-Works2	CD5_sample_06H.gwz	シリアルコミュニケーション接続用 FB ライブラリ用接続サンプル 圧縮ファイル GWZ 形式
2	GT-Works3	CD5_sample_V100.GTW	変位センサーモニタ画面 圧縮ファイル GTW 形式

表 4.1 サンプルラダー(ダウンロードファイル)

※ MELSEC-Q シリアルコミュニケーション接続用 FB ライブラリをダウンロードしてセットアップをおこなってください。

### 4.2. CD5 シリーズ対象機種

変位センサの対象とする機種を示します。

No	シリーズ	型式
1	CD5 シリーズ	CD5-L25 *1
2	CD5 シリーズ	CD5-LW25 *1
3	CD5 シリーズ	CD5-L30 *1
4	CD5 シリーズ	CD5-L85
5	CD5 シリーズ	CD5-LW85
6	CD5 シリーズ	CD5-W350 *1
7	CD5 シリーズ	CD5-W500 *1
8	CD5 シリーズ	CD5-W2000 *1

表 4.2 CD5 対象機種

\*1 タッチパネルの表示単位は 0  $\mu$ m となっています。機種に応じて単位を変更してください。

### 4.3. MELSEC-Q シリーズ対象機種

変位センサの対象とする機種を示します。

No	シリーズ	モデル
1	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル ベーシックモデル ハイパフォーマンスモデル

表 4.3 MELSEC-Q シリーズ対象機種

## 5. サンプルシステムの構成

### 5.1. システム構成(4CH 構成の場合)

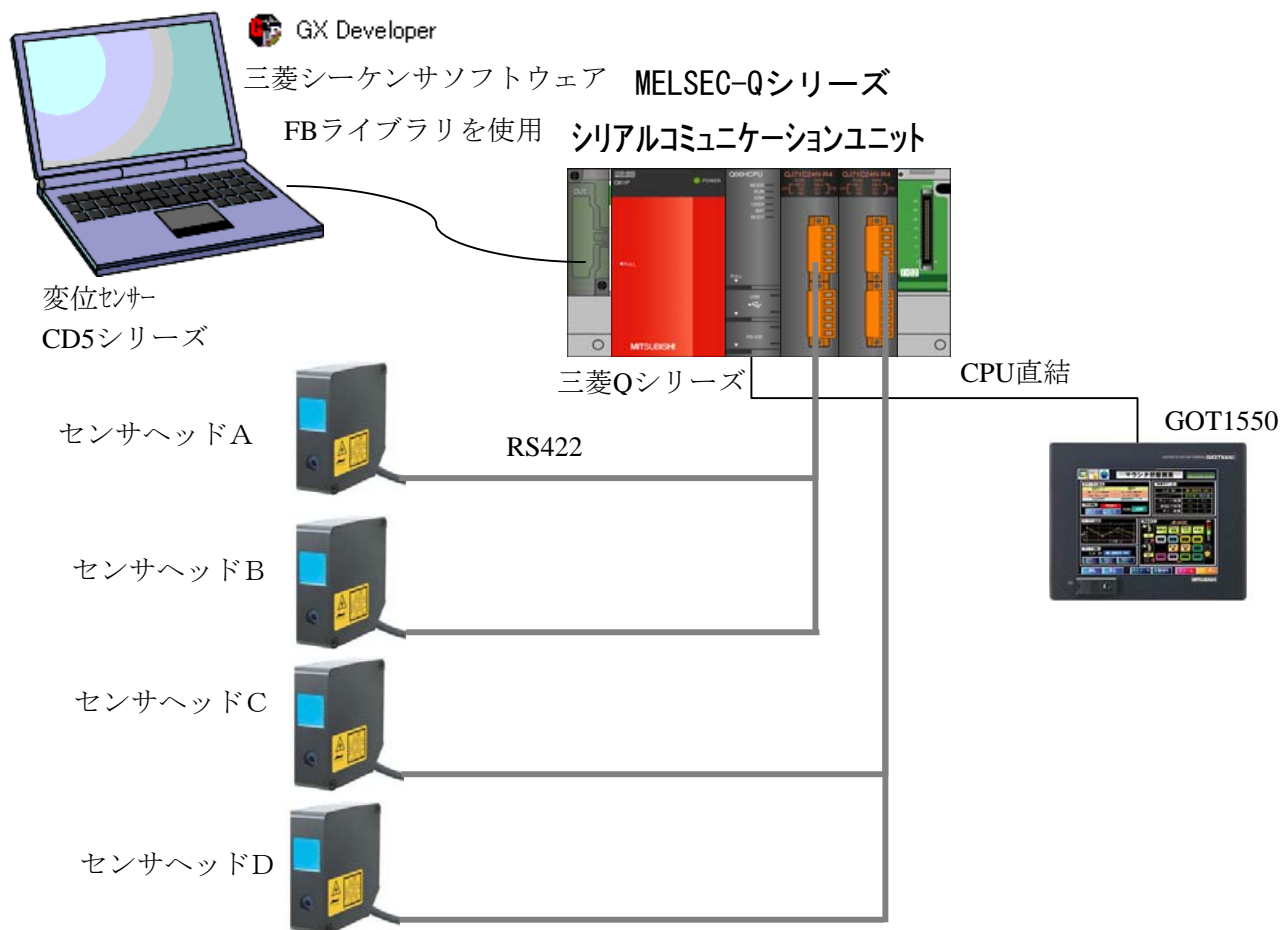


図 5.1 システム構成(4CH 構成の場合)

### 5.2. システム構成(6CH 構成の場合)

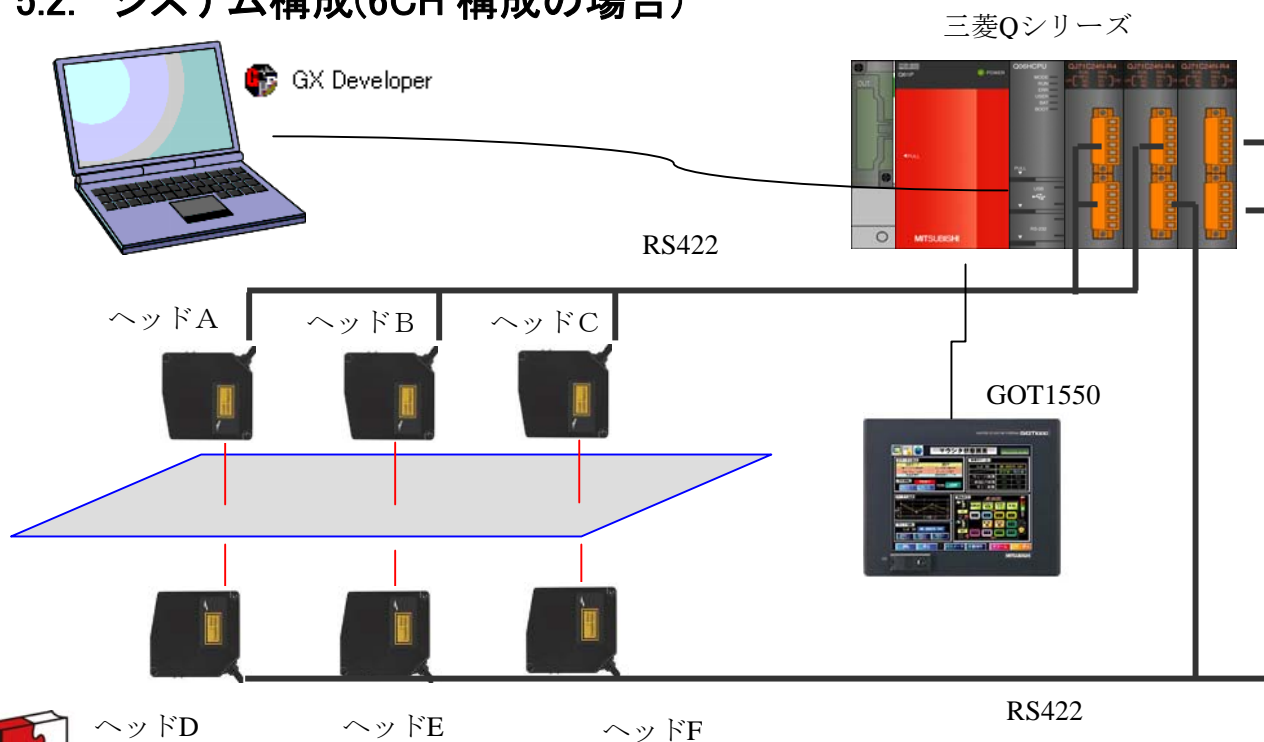


図 5.2 システム構成(6CH 構成の場合)

### 5.3. システム機器構成例

No	メーカー	シリーズ	型式	説明
1	三菱電機	MELSEC-Q シリーズ CPU	Q06H	CPU ユニット
2	三菱電機	シリアルコミュニケーション	QJ71C24N/ QJ71C24N-R4	RS422/485IF × 2CH
3	オプテックス・エフエー	CD5 シリーズ	CD5-L85	変位センサヘッド
4	オプテックス・エフエー	CD5 シリーズ	DOL-1212-E05M	センサヘッド接続ケーブル(5m)

表 5.3 システム機器構成例

### 5.4. ケーブル結線

CD5 シリーズとシリアルコミュニケーションを接続するケーブルを示します。

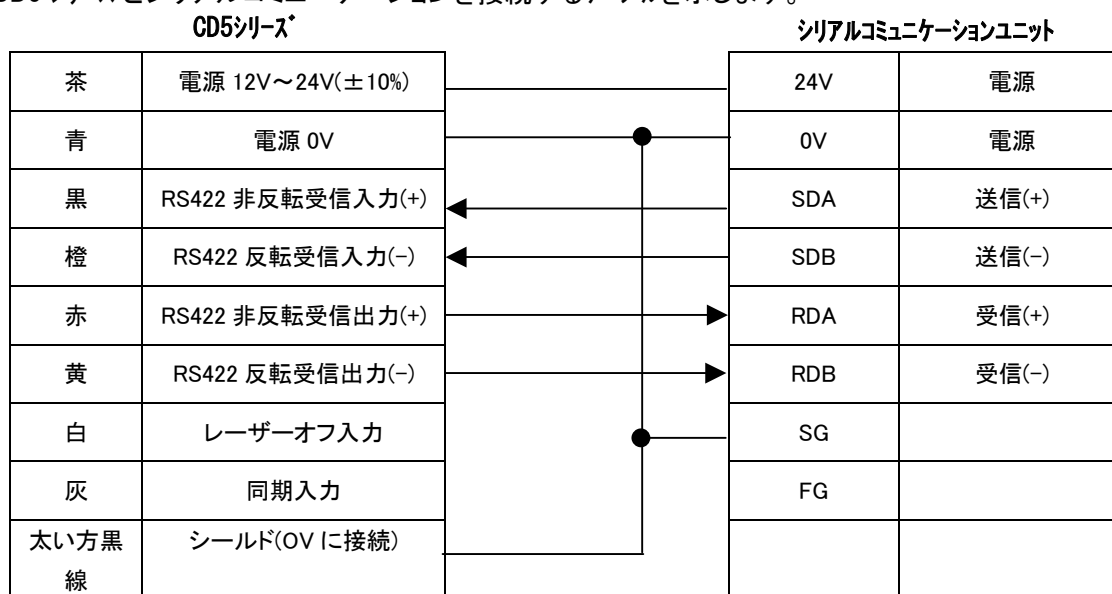


図 5.4 ケーブル結線

### 5.5. ソフトウェア

No	メーカー	製品情報	型式	バージョン	備考
1	三菱電機	シーケンサ設計・保守ツール	GX Works2	1.09K 以降	
2	三菱電機	タッチパネル画面作成ツール	GT Desugner3	1.16S 以降	

表 5.5 ソフトウェア

#### 関連マニュアル

以下のマニュアルをご参照ください。

- ・ GX Works オペレーションマニュアル(共通編)
- ・ GX Works オペレーションマニュアル(構造化プロジェクト編)
- ・ GX Works オペレーションマニュアル(インテリジェント機能ユニット編)
- ・ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編・作画編)

## 5.6. QJ71C24N-R4 の情報

項目	内容	
ユニット種別	シリアルコミュニケーション	
ユニット型名	QJ71C24N-R4	
通信 CH	CH1(CH2)	
I/O 割付設定	種別	インテリ
	先頭 XY	0000(0 スロット目) 0020(1 スロット目) 0040(3 スロット目)
	動作設定	独立
	データビット	8
伝送設定	パリティビット	なし
	奇数/偶数パリティ	奇数
	ストップビット	1
	サムチェックコード	なし
	RUN 中書込み	許可
	設定変更	許可
	通信速度設定	115200bps (CD5 初期通信設定時 9600bps 固定)
	更新プロトコル設定	無手順通信
局番設定(1,2,共通 0~31)		0

表 5.6 QJ71C24N-R4

## 5.7. CD5 の通信設定

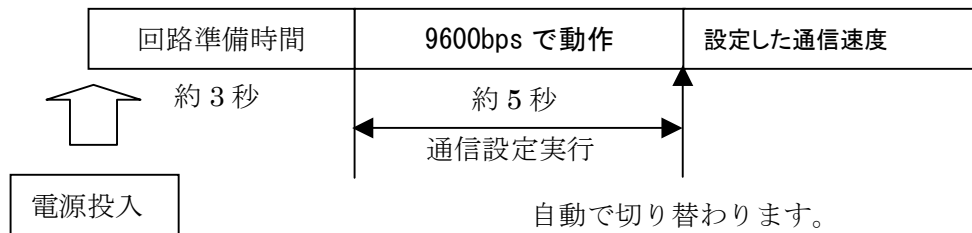
通信設定	接続機器側
通信方式	RS-422
通信速度	9600bps~115.2kbps、初期値 921.6kbps
伝送コード	ASCII(一部のコードはバイナリ)
データ長	8 ビット
ストップビット長	1 ビット
パリティチェック	なし
データ区分	STX,ETX
チェックコード	排他的論理和(XOR)

表 5.7 CD5 シリーズの通信設定

## 5.8. CD5 通信設定手順

CD5 シリーズの初期状態ではシリアルコミュニケーションと通信しません。

CD5 シリーズ電源投入後、センサヘッドの通信速度は下記のように切り替わります。



センサヘッド内には導入した時の通信速度が記憶されています。(初期値 921.6kbps)

電源を OFF しても設定内容は記憶しています。

回路準備期間経過後、通信速度の設定のプロトコルをご使用頂くと、次回からは電源投入後 8 秒後、設定した通信速度へ自動的に切り替わります。

以下の手順により通信設定を変更してください。

<手順>

1. センサとシリアルコミュニケーションを接続します。
2. サンプルラダーをシーケンサにインストールします。
3. シリアルコミュニケーションの通信速度を 9600bps にします。  
(通信速度以外は同じ設定。5.6.QJ71G24N-R4 の情報をご参照ください。)
4. パラメータ設定画面からシーケンサへ通信速度設定の書込みをおこないます。  
CD5 シリーズの電源投入後、3 秒～8 秒間(9600bps 動作中)に実行してください。  
(通信設定プロトコルを実行した後は設定した通信速度になります。)
5. シリアルコミュニケーションの通信速度もセンサと同じ通信速度に設定します。  
(通信設定変更後は必ずシーケンサをリセットしてください。)



## 6. 画面詳細

### 6.1. 画面一覧

画面	シリーズ	型式
ベース 1	MENU	各種画面切替え
ベース 2	モニタ画面	変位センサの絶対値(距離)を表示します。
ベース 3	基準段差	基準となるセンサからの距離を算出します。しきい値を画面上から設定します。しきい値を超えると NG 判定とします。
ベース 4	相対段差	各センサ間の距離を算出します。しきい値を画面上から設定します。しきい値を超えると NG 判定とします。
ベース 5	平坦度測定	指定トリガが ON の時の MAX,MIN 値を算出します。
ベース 6	そり測定	A-B 間、A-C 間のそりを測定し、一定の変化以上のそりが発生した場合は NG 判定とします。AB 間・BC 間の距離は任意に設定が可能です。
ベース 7	多点厚み	上下センサ間の測定物厚さを測定します。基準となる「0」点にします為の補正値を画面から入力します。
ベース 8	平均高さ	各センサで測定した値の平均値を算出します。
ベース 10	CD5 パラメータ設定画面	各センサのパラメータを設定します。
ウインドウ 1	平均回数	センサのパラメータ「平均回数」を設定します。
ウインドウ 2	測定対象	センサのパラメータ「測定対象」を設定します。
ウインドウ 3	拡散/正反射	センサのパラメータ「拡散/正反射」を設定します。
ウインドウ 4	レーザーパワー	センサのパラメータ「レーザーパワー」を設定します。
ウインドウ 5	感度	センサのパラメータ「感度」を設定します。
ウインドウ 6	通信速度	センサのパラメータ「通信速度」を設定します。
ウインドウ 7	受光波形しきい値	センサのパラメータ「受光波形しきい値」を設定します。
ウインドウ 8	サンプリング周期	センサのパラメータ「サンプリング周期」を設定します。
ウインドウ 9	相互干渉防止	センサのパラメータ「相互干渉防止」を設定します。
ウインドウ 10	アラーム時測定値	センサのパラメータ「アラーム時測定値」を設定します。
ウインドウ 11	入力タイプ	センサのパラメータ「入力タイプ」を設定します。
ウインドウ 12	センサヘッド	センサヘッドの種類を設定します。「25mm」「30mm」「85mm」「350mm」「500mm」「2000mm」初期値「85mm」
ウインドウ 13	距離補正	多点厚みの距離補正をおこないます。
ウインドウ 20	ヘッド調整ウインドウ 3 個	3ヘッドのゼロリセットを基点とした距離を表示します。「ゼロリセット」をセットした時点の距離が0mm となります。
ウインドウ 21	ヘッド調整ウインドウ 4 個	4ヘッドのゼロリセットを基点とした距離を表示します。「ゼロリセット」をセットした時点の距離が0mm となります。
ウインドウ 22	ヘッド調整ウインドウ 6 個	5ヘッドのゼロリセットを基点とした距離を表示します。「ゼロリセット」をセットした時点の距離が0mm となります。
ウインドウ 100	リアルタイム表示測定表示 センサーヘッド 4 個	各センサのトレンドグラフの表示をします。収集開始ボタンを押すと収集開始、収集停止をオスと収集停止。CSV 保存を押すと CF カードにデータ保存。収集周期 100ms
ウインドウ 101	リアルタイム表示測定表示 センサーヘッド 6 個	各センサのトレンドグラフの表示をします。収集開始ボタンを押すと収集開始、収集停止をオスと収集停止。CSV 保存を押すと CF カードにデータ保存。収集周期 100ms
ウインドウ 102	一括モニタ表示測定表示 センサーヘッド 6 個	各センサのトレンドグラフの絶対値を表示します。 収集開始ボタンを押すと収集開始、収集停止をオスと収集停止。CSV 保存を押すと CF カードにデータ保存。収集周期 100ms



ウインドウ 103	リアルタイム表示測定表示 基準段差	基準段差のトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 104	リアルタイム表示測定表示 相対段差	相対段差のトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 105	リアルタイム表示測定表示 平坦度	平坦度のトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 106	リアルタイム表示測定表示 そり測定	そり測定のトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 106	リアルタイム表示測定表示 多点厚み	多点厚みのトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 107	リアルタイム表示測定表示 平均	平均のトレンドグラフを表示します。
ウインドウ 108	リアルタイム表示測定表示 基準段差	基準段差のトレンドグラフを表示します。

表 6.1 画面一覧

## 6.2. 画面遷移

B1:メイン画面

CD5サンプルアプリケーション

基準段差 相対段差 平坦度測定

そり測定 多点厚み 平均高さ

モニタ画面 パラメータ設定

FA

B2:センサーヘッド一括モニタ

センサーヘッド一括モニタ

センサーヘッド	値	単位	操作
センサーヘッドA	23.456	mm	設定
センサーヘッドB	23.456	mm	設定
センサーヘッドC	23.456	mm	設定
センサーヘッドD	23.456	mm	設定
センサーヘッドE	23.456	mm	設定
センサーヘッドF	23.456	mm	設定

パラメータ設定

B10:パラメータ設定

センサーヘッドパラメータ設定

項目	設定値	単位	操作
平均回数	未設定		設定
キャリアレーション (シフト)	123456		設定
キャリアレーション (スパン)	6.0000		設定
測定対象	未設定		設定
拡散/正反射	未設定		設定
レーザーパワー	未設定		設定
受光感度	未設定		設定
通信速度	未設定		設定
受光波形しきい値	未設定		設定
サンプリング周期	未設定		設定
相互干渉防止	未設定		設定
アラーム時測定値	未設定		設定
入力タイプ	未設定		設定
センサーヘッド	未設定		設定

センサーヘッドを選択してから操作してください。  
変更する場合は必ず現在の設定を読み出してください。

バック 設定 実行

B3:標準段差

標準段差測定

A to B: 123456  $\mu$ m

A to C: 123456  $\mu$ m

しきい値+: 123456  $\mu$ m

しきい値-: 123456  $\mu$ m

B4:相対段差

相対段差測定

厚みA-D: 123456  $\mu$ m

厚みB-E: 123456  $\mu$ m

厚みC-F: 123456  $\mu$ m

しきい値+: 123456  $\mu$ m

しきい値-: 123456  $\mu$ m

B5:平坦度測定

平坦度測定

MAX: 123456  $\mu$ m

MIN: 123456  $\mu$ m

しきい値 MAX: 123456  $\mu$ m

しきい値 MIN: 123456  $\mu$ m

B6:そり測定

そり測定

そり量B: 123456  $\mu$ m

そり量C: 123456  $\mu$ m

しきい値上限: 123456  $\mu$ m

しきい値下限: 123456  $\mu$ m

そり量  $\mu$ m

しきい値 上限 123456  
中心 123456  
下限 123456

距離 mm

B7:多点厚み

多点厚み測定

A to B: 123456  $\mu$ m

A to C: 123456  $\mu$ m

B to C: 123456  $\mu$ m

しきい値+: 123456  $\mu$ m

しきい値-: 123456  $\mu$ m

B8:平均高さ

平均高さ測定

平均高さ: 123456  $\mu$ m

しきい値+: 123456  $\mu$ m

しきい値-: 123456  $\mu$ m

## 6.3. 画面データ詳細

### 6.3.1 B1 メイン画面



#### 詳細説明

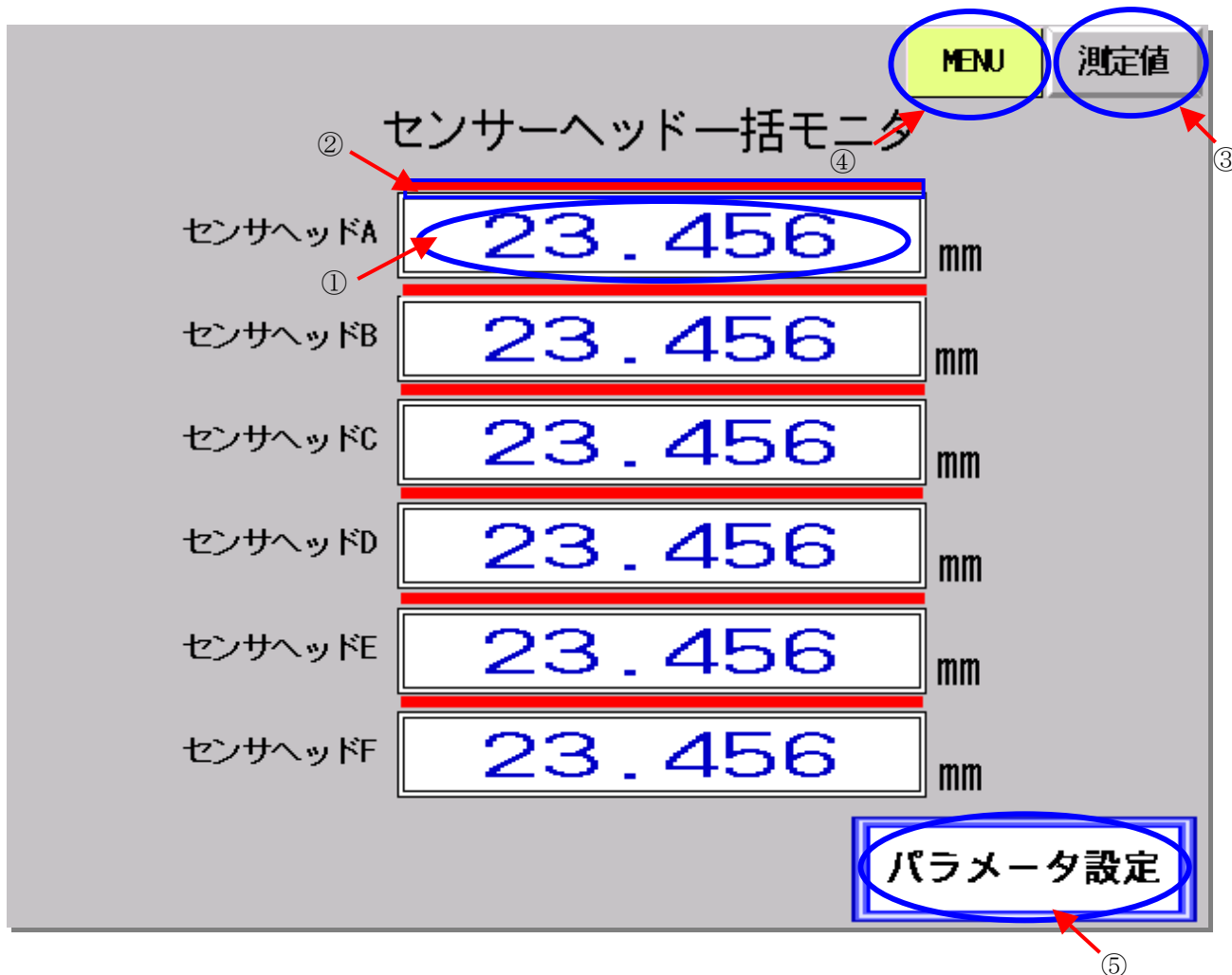
- 1.電源投入時に初めに表示する画面となります。
- 2.各画面名称のボタンを押すとアプリケーション画面へ切り替わります。

### 6.3.2 B2:センサヘッド一括モニター

#### 概要

センサヘッドの測定データが表示されます。

センサから一番手前のポイントが0基準となります。



#### 画面説明

- ①各ヘッドの距離の絶対値を表示します。(測定範囲 0～測定距離)
- ②センサーの測定範囲をグラフで表示します。
- ③各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ④「MENU」画面に切り替わります。
- ⑤パラメータ設定画面に切り替わります。

### 6.3.3 B3:規準段差

#### 概要

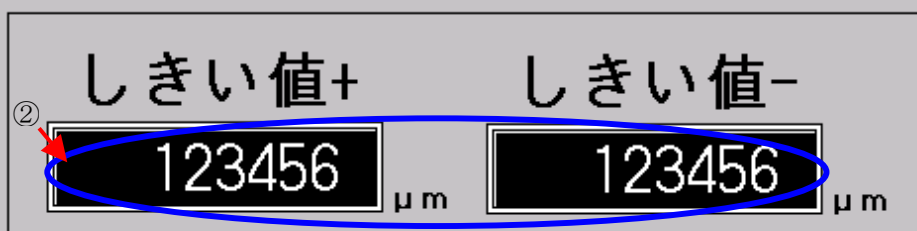
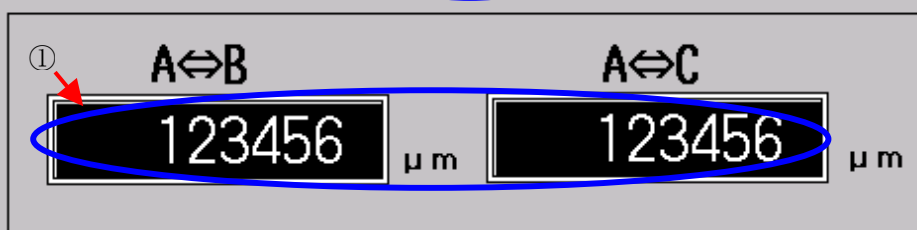
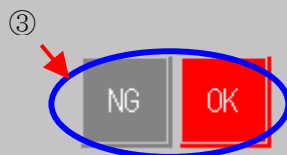
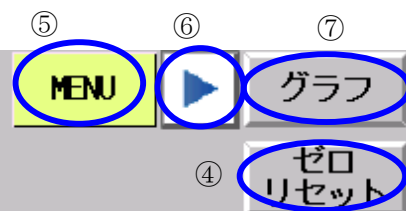
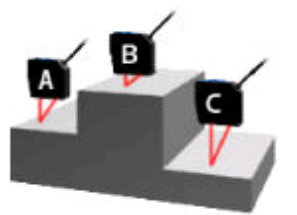
3ヘッドが基本構成となります。

ヘッド A が基準となり、各センサ間の距離を測定します。

しきい値を設定することができ、しきい値が越えると NG となります。

#### ■基準段差測定

基準点と各測定点との差を演算



#### 画面説明

- ①各ヘッドの距離の相対距離を表示します。
- ②段差のしきい値を設定します。項目をタッチするとテンキーが表示します。
- ③しきい値の範囲を超えると NG 判定となります。  
設定範囲内は OK 判定となります。
- ④ゼロリセットウインドウが表示します。
- ⑤「MENU」画面に切り替わります。
- ⑥「相対段差」画面に切り替わります。
- ⑦各センサーの値をトレンドグラフで表示します。

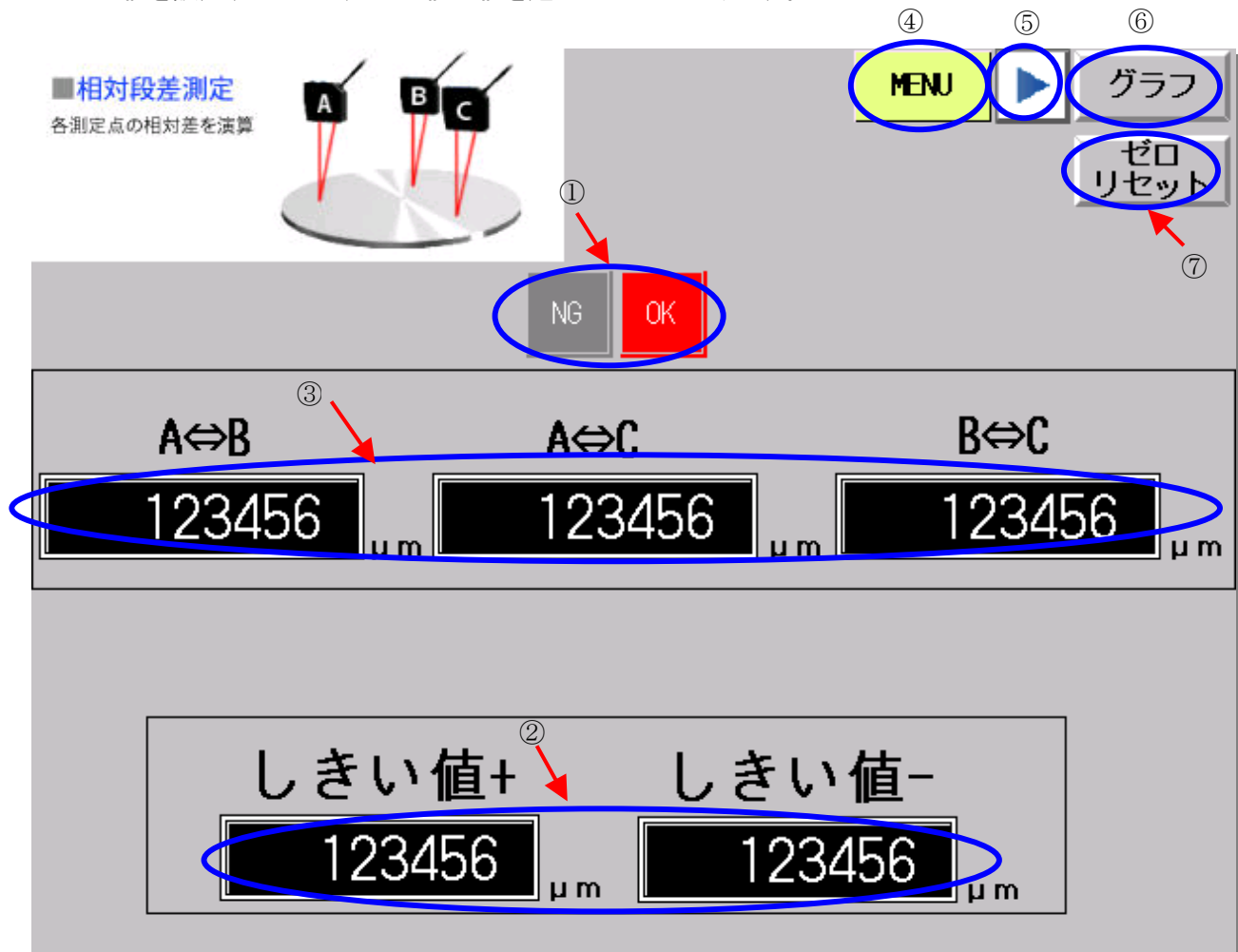
### 6.3.4 B4:相対段差

#### 概要

3ヘッドが基本構成となります。

各ヘッド間の距離を測定します。

しきい値を設定することで、しきい値の値を越えると NG となります。



#### 画面説明

- ①しきい値の範囲を超えると NG 判定となります。  
範囲内の場合は OK 判定となります。
- ②段差のしきい値を設定します。項目をタッチするとテンキーが表示します。
- ③各センサー間の距離を表示します。
- ④「MENU」画面に切り替わります。
- ⑤「平坦度測定」画面に切り替わります。
- ⑥各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ⑦ゼロリセットウインドウが表示します。

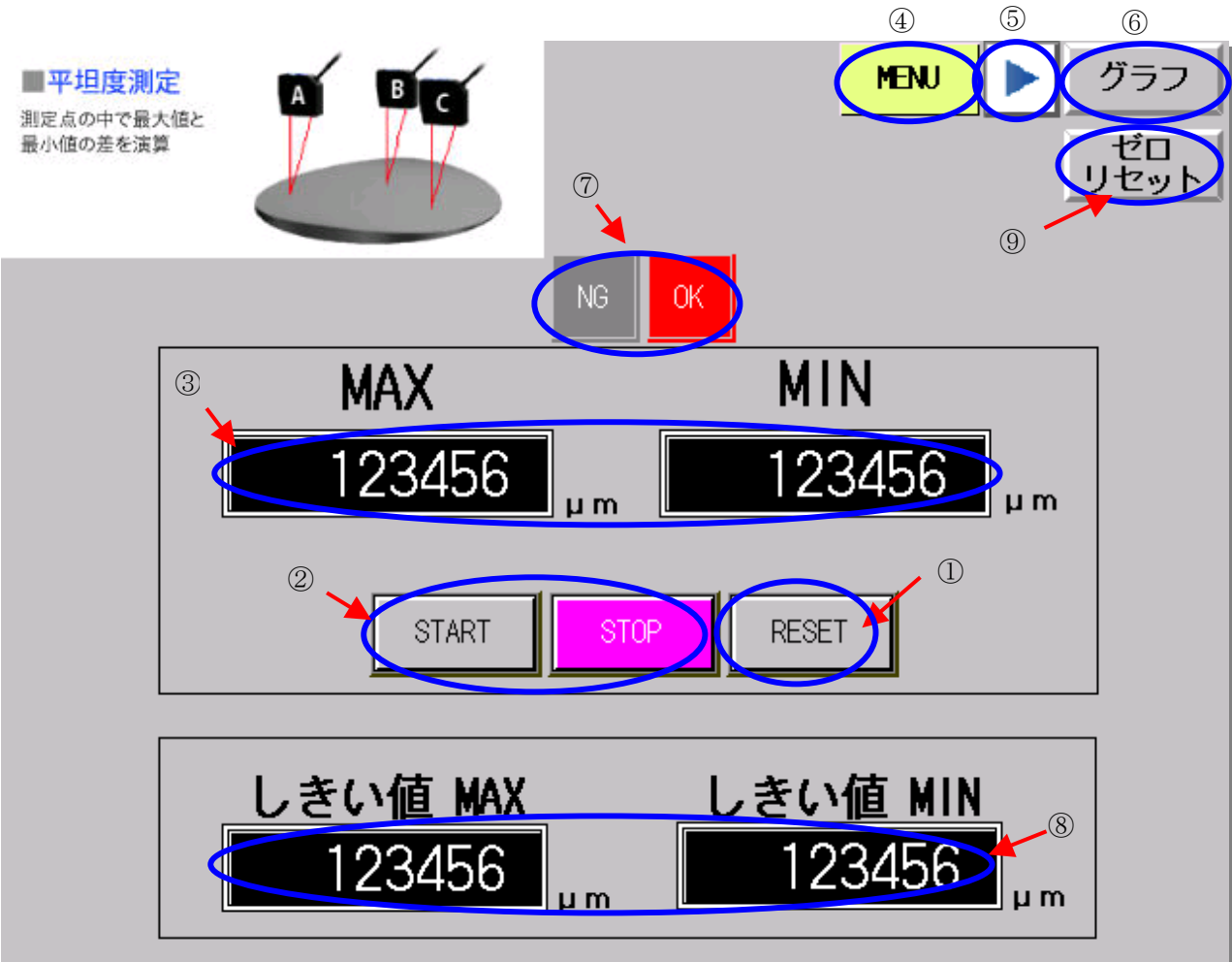
### 6.3.5 B5:平坦度測定

#### 概要

3ヘッドが基本構成となります。

スタートボタンを押すと測定が開始します。測定中の MAX/MIN 値を表示します。

しきい値を設定することでしきい値の値を越えると NG となります。



#### 画面説明

- ①「MAX」「MIN」の値を「0」リセットします。
- ②「START」ボタンを押すと測定開始します。  
「STOP」ボタンを押すと測定を停止します。
- ③「MAX」「MIN」の値を表示します。
- ④「MENU」画面に切り替わります。
- ⑤「そり測定」画面に切り替わります。
- ⑥各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ⑦しきい値の範囲を超えると NG 判定となります。  
範囲内の場合は OK 判定となります。
- ⑧しきい値の最大値・最小値を入力します。  
項目をタッチするとテンキーが表示します。
- ⑨ゼロリセットウインドウが表示します。



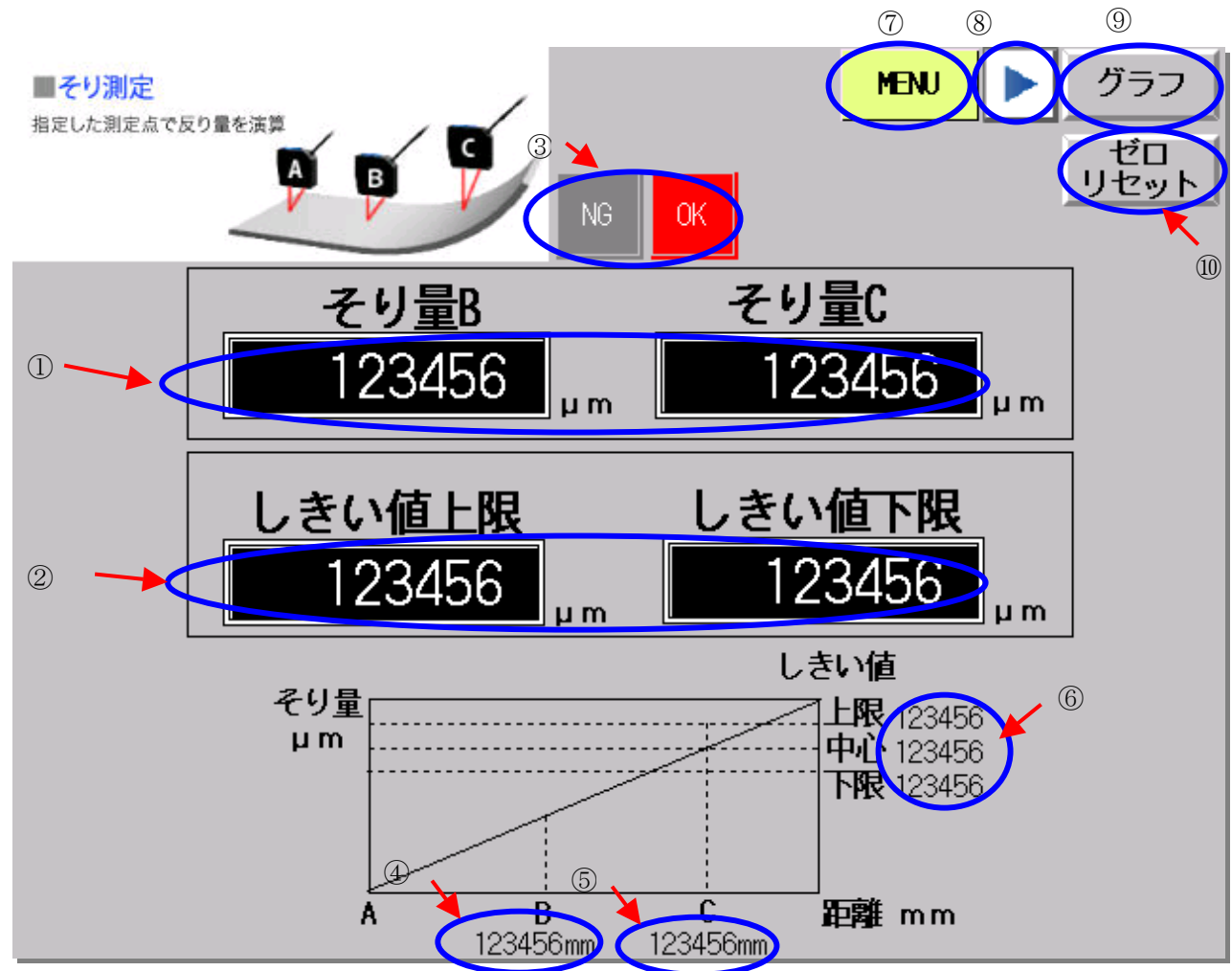
### 6.3.6 B6:そり測定

#### 概要

3ヘッドが基本構成となります。

センサヘッド A を基点としてヘッド B とヘッド C のそりを測定します。

上下限のしきい値を設定することでしきい値の値を越えると NG 判定となります。



#### 画面説明

- ①A-B 間・A-C 間のそりの現在値を表示します。
- ②しきい値の上限・下限値を設定します。項目をタッチするとテンキーが表示します。
- ③しきい値の値を超えると NG 判定となります。
- ④A-B 間のセンサーの距離を設定します。  
項目をタッチするとテンキーが表示します。初期値 100mm
- ⑤A-C 間のセンサーの距離を設定します。  
項目をタッチするとテンキーが表示します。初期値 200mm
- ⑥A-B 間の距離、A-B 間のそり量により A-C 間のしきい値が計算されます。
- ⑦「MENU」画面に切り替わります。
- ⑧「多点厚み」画面に切り替わります。
- ⑨各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ⑩ゼロリセットウィンドウが表示します。

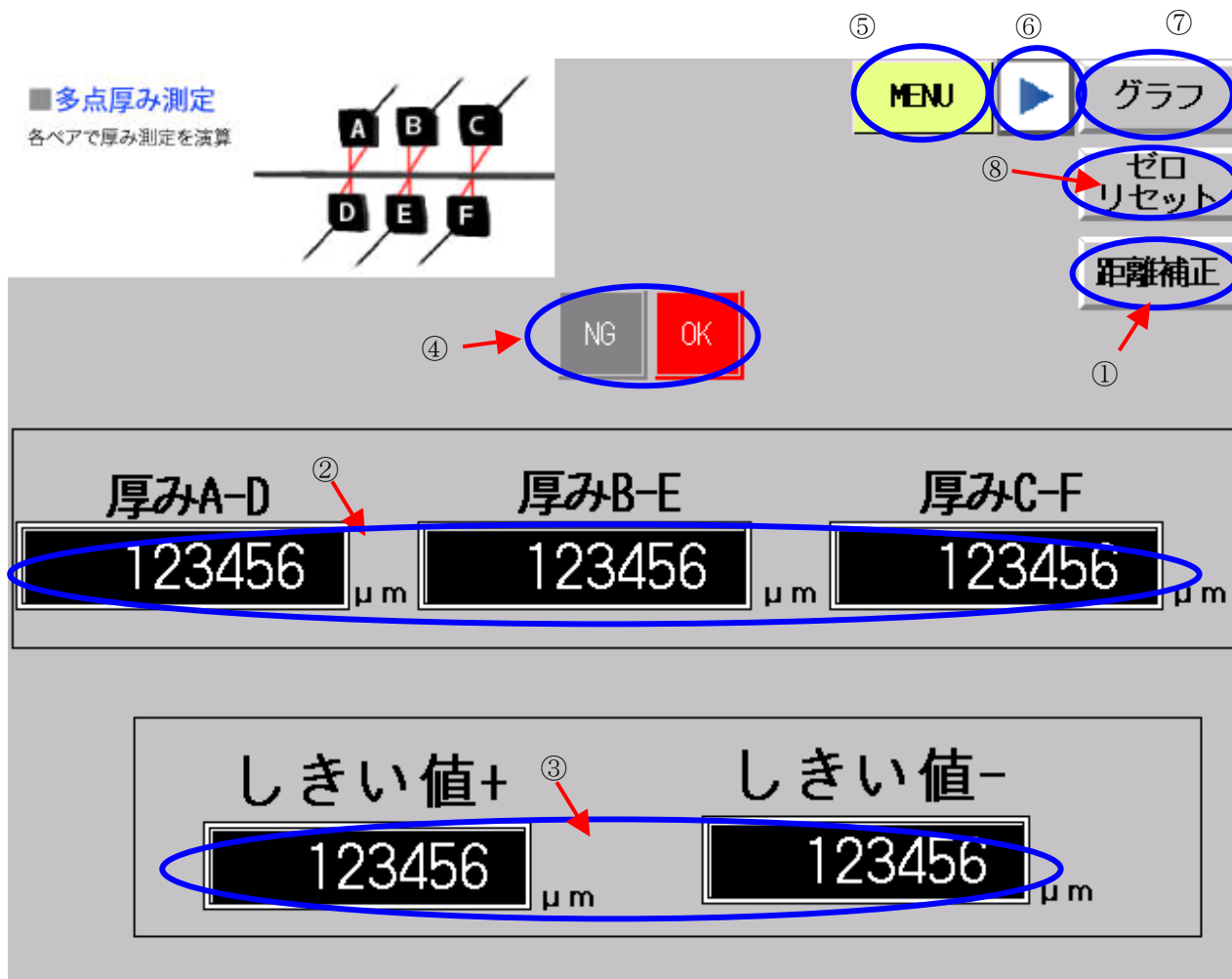
### 6.3.7 B7:多点厚み

#### 概要

6ヘッドが基本構成となります。

上部センサヘッド A・B・C と下部センサヘッド D・E・F 間の距離を測定します。

厚みの上下限のしきい値を設定することでしきい値の値を越えると NG 判定となります。



#### 画面説明

- ①距離補正のウインドウが表示されます。  
A-D/B-E/C-F 間の距離を補正します。  
項目をタッチするとウインドウが表示します。
- ②A-D 間・B-E 間・C-F 間の厚みを表示します。
- ③厚みのしきい値、最大・最小値を設定します。
- ④しきい値の最大値・最小値を越えると NG 判定となります。
- ⑤「MENU」画面に切り替わります。
- ⑥「平均高さ」画面に切り替わります。
- ⑦各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ⑧ゼロリセットウインドウが表示します。

### 6.3.8 B8:平均高さ

#### 概要

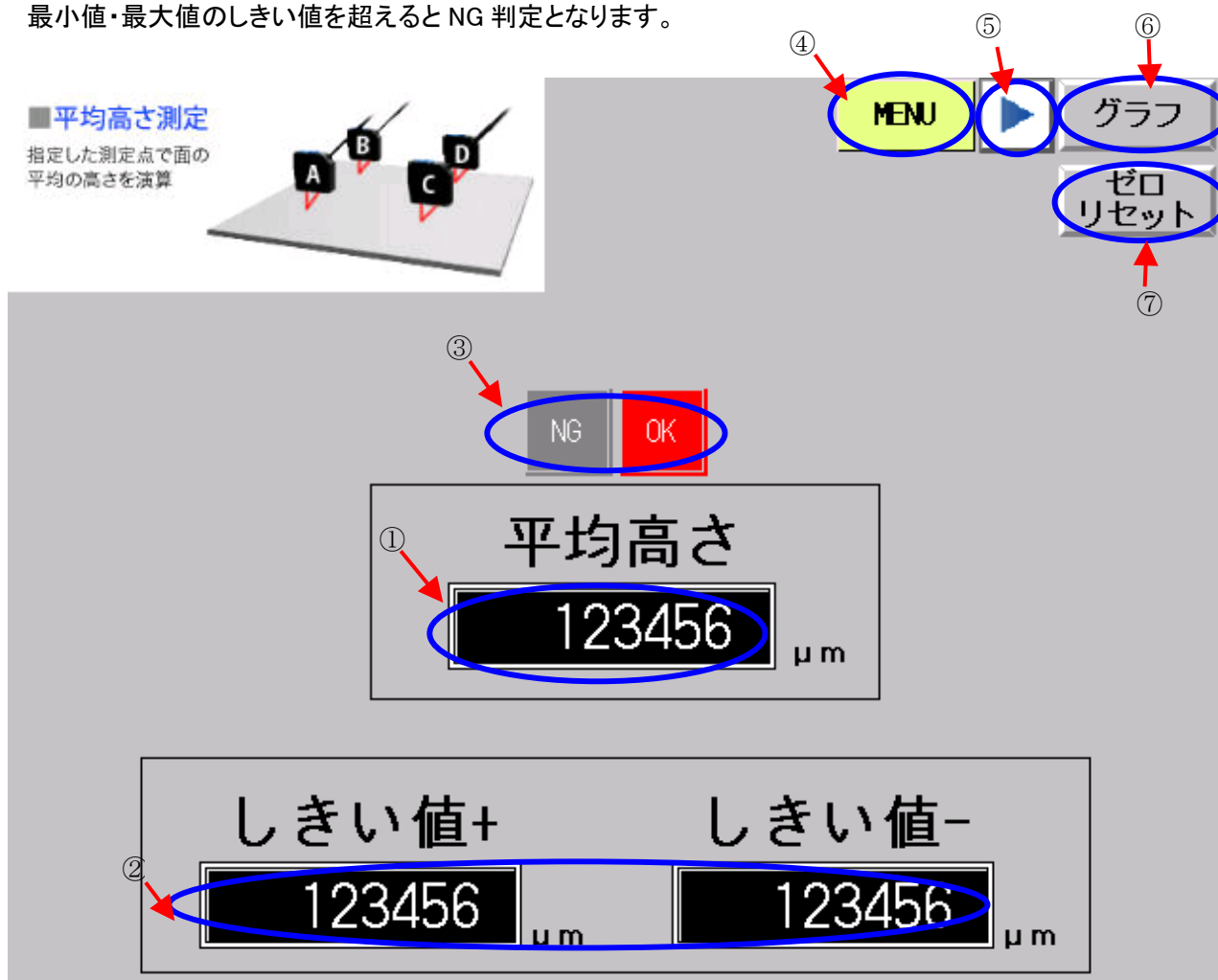
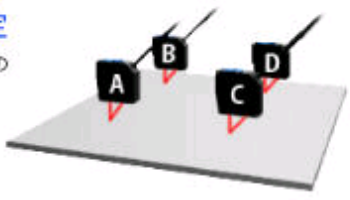
4ヘッドが基本構成となります。

ヘッド4個の厚みの平均値を演算します。

最小値・最大値のしきい値を超えると NG 判定となります。

#### ■平均高さ測定

指定した測定点で面の平均の高さを演算



#### 画面説明

- ①測定ポイントの平均高さを表示します。
- ②平均高さの最大値・最小値のしきい値を設定します。
- ③しきい値の最大値・最小値を超えると NG 判定となります。
- ④「MENU」画面に切り替わります。
- ⑤「相対段差」画面に切り替わります。
- ⑥各センサーの値をトレンドグラフで表示します。
- ⑦ゼロリセットウインドウが表示します。

### 6.3.9 B10:パラメータ設定

#### 概要

各センサヘッドのパラメータを設定します。

設定したいヘッドを選択後、パラメータの読み出し、書き込みボタンを押してください。

The screenshot shows the 'センサーヘッドパラメータ設定' (Sensor Head Parameter Setting) screen. At the top, there are buttons for 'MENU' (circled in blue, labeled 5) and '測定値' (labeled 6). Below these are six buttons for sensor heads: 'センサーヘッドA', 'センサーヘッドB' (labeled 1), 'センサーヘッドC', 'センサーヘッドD', 'センサーヘッドE', and 'センサーヘッドF' (labeled 6). The main area contains two columns of parameters, each with a label and a value field (mostly '未設定' or '123456', '6.0000'). At the bottom, there are two buttons: 'パラメータ読み出し' (labeled 3) and 'パラメータ書き込み' (labeled 4). A text box at the bottom left (labeled 2) contains instructions: 'センサーヘッドを選択してから操作してください。変更する場合は必ず現在の設定を読み出してください。' (Please operate after selecting the sensor head. When changing, please always load the current settings.)

パラメータ	値	パラメータ	値
平均回数	未設定	通信速度	未設定
キャリブレーション (シフト)	123456	受光波形しきい値	未設定
キャリブレーション (スパン)	6.0000	サンプリング周期	未設定
測定対象	未設定	相互干渉防止	未設定
拡散/正反射	未設定	アラーム時測定値	未設定
レーザーパワー	未設定	入力タイプ	未設定
受光感度	未設定	センサーヘッド	未設定

#### 画面説明

- ①パラメータ設定するヘッドを選択します。
- ②パラメータ設定する項目をタッチすると設定項目ウィンドウが表示します。  
設定項目をタッチした後、「閉」ボタンでウィンドウを閉じます。
- ③「パラメータ読み出し」を押すと現在のパラメータが読み出されます。
- ④「パラメータ書き込み」を押すと現在の表示しているパラメータが書き込まれます。
- ⑤「MENU」画面に切り替わります。
- ⑥各センサーの値をトレンドグラフで表示します。

### 6.3.10 W20・W21・W22:ヘッド調整ウインドウ

#### 概要

ゼロリセットを押した場所を基点として距離を表示します。

「ゼロリセット」をセットした時点の距離が0mm となります。



#### 画面説明

- ①各ヘッドの距離を表示します。
- ②「ゼロリセット」ボタンを押すと、0点リセットします。
- ③センサーの測定範囲をグラフで表示します。
- ④ゼロリセットをキャンセルすると一番手前の測定点が基準点となります。
- ⑤ウインドウを閉じます。

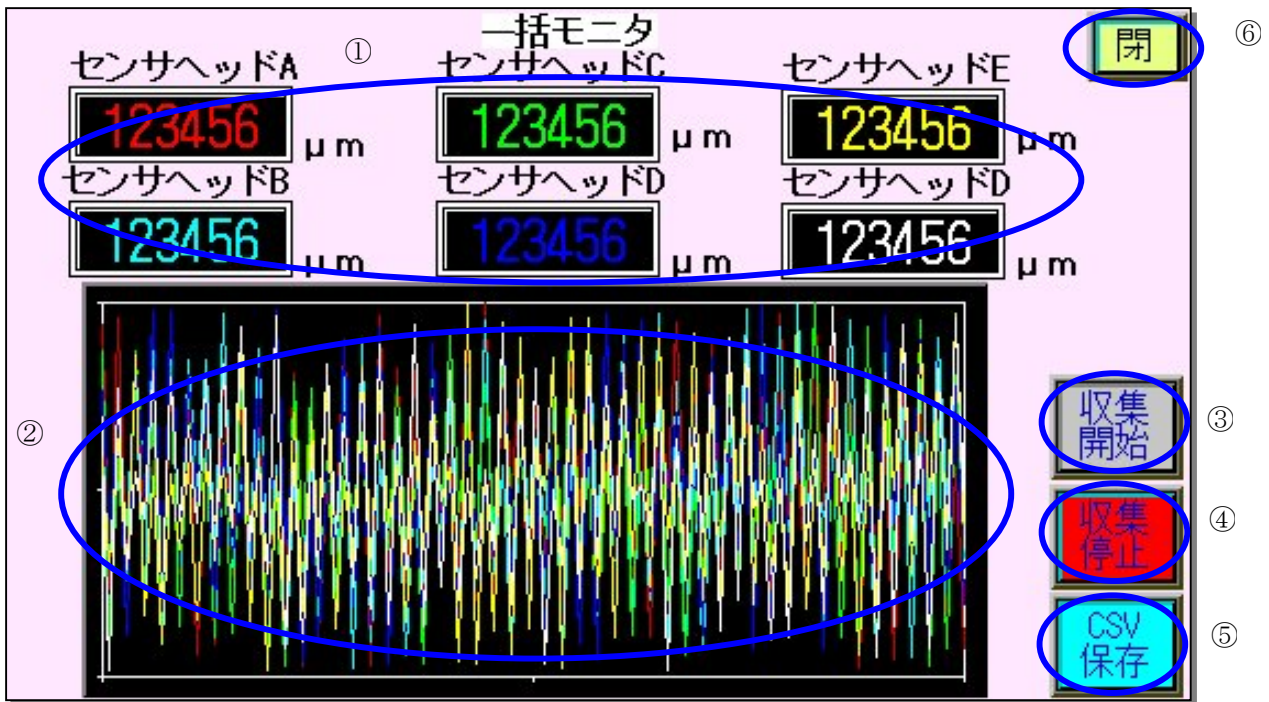
### 6.3.11 W102・W103・W104・W105・W106・W107・W108トレンドグラフウインドウ

#### 概要

各測定データをリアルタイムに折れ線グラフ表示します。

収集開始から収集終了までの間データを収集します。

収集したデータは CF カードに保存が出来ます。



#### 画面説明

- ① 測定データを表示します。
- ② 測定データを折れ線グラフ表示します。
- ③ 「収集開始」ボタンを押すと収集を開始します。
- ④ 「収集停止」ボタンを押すと収集を停止します。
- ⑤ 「CSV 保存」を押すと GOT 本体の CF カード内にデータが保存されます。
- ⑥ ウインドウが閉じます。

## 7. デバイス一覧

### 7.1. デバイス一覧(ビットアドレス)

No	デバイス	タイプ	コメント	説明
1	M0000	ビット	ユニット 0_CH1_現在値読出実行	測位データ読み出し用
2	M0001	ビット	ユニット 0_CH2_現在値読出実行	測位データ読み出し用
3	M0002	ビット	ユニット 1_CH1_現在値読出実行	測位データ読み出し用
4	M0003	ビット	ユニット 1_CH2_現在値読出実行	測位データ読み出し用
5	M0004	ビット	ユニット 2_CH1_現在値読出実行	測位データ読み出し用
6	M0005	ビット	ユニット 2_CH2_現在値読出実行	測位データ読み出し用
7	M0010	ビット	ユニット 0_CH1_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
8	M0011	ビット	ユニット 0_CH1_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
9	M0012	ビット	ユニット 0_CH1_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
10	M0013	ビット	ユニット 0_CH2_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
11	M0014	ビット	ユニット 0_CH2_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
12	M0015	ビット	ユニット 0_CH2_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
13	M0016	ビット	ユニット 1_CH1_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
14	M0017	ビット	ユニット 1_CH1_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
15	M0018	ビット	ユニット 1_CH1_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
16	M0019	ビット	ユニット 1_CH2_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
17	M0020	ビット	ユニット 1_CH2_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
18	M0021	ビット	ユニット 1_CH2_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
19	M0022	ビット	ユニット 2_CH1_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
20	M0023	ビット	ユニット 2_CH1_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
21	M0024	ビット	ユニット 2_CH1_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
22	M0025	ビット	ユニット 2_CH2_現在値読出通信実行状態	測位データ読み出し用
23	M0026	ビット	ユニット 2_CH2_現在値読出正常終了	測位データ読み出し用
24	M0027	ビット	ユニット 2_CH2_現在値読出異常終了	測位データ読み出し用
25	M0200	ビット	設定値書込_実行	FB 実行用パラメータ設定値書込み
26	M0201	ビット	設定値書込_実行	FB 実行用パラメータ設定値書込み
27	M0210	ビット	設定値書込_実行状態	FB 実行用パラメータ設定値書込み
28	M0211	ビット	設定値書込_正常終了	FB 実行用パラメータ設定値書込み
29	M0212	ビット	設定値書込_異常終了	FB 実行用パラメータ設定値書込み
30	M0300	ビット	設定値読出_実行	FB 実行用パラメータ設定値読出し
31	M0310	ビット	設定値読出通信実行状態	FB 実行用パラメータ設定値読出し
32	M0311	ビット	設定値読出正常終了	FB 実行用パラメータ設定値読出し
33	M0312	ビット	設定値読出異常終了	FB 実行用パラメータ設定値読出し

7.1 デバイス一覧(ビットアドレス)



## 7.2. デバイス一覧(ワードアドレス)

No	デバイス	タイプ	コメント	説明
1	D0000	ワード	変位センサ A スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
2	D0001	ワード	変位センサ A スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
3	D0002	ワード	変位センサ B スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
4	D0003	ワード	変位センサ B スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
5	D0004	ワード	変位センサ C スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
6	D0005	ワード	変位センサ C スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
7	D0006	ワード	変位センサ D スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
8	D0007	ワード	変位センサ D スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
9	D0008	ワード	変位センサ E スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
10	D0009	ワード	変位センサ E スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
11	D0010	ワード	変位センサ F スケール変換後_現在値+0	変位センサ現在値
12	D0011	ワード	変位センサ F スケール変換後_現在値+1	変位センサ現在値
13	D1094	ワード	変位センサヘッド D_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
14	D1095	ワード	変位センサヘッド D_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値
15	D1096	ワード	変位センサヘッド E_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
16	D1097	ワード	変位センサヘッド E_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値
17	D1098	ワード	変位センサヘッド F_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
18	D1099	ワード	変位センサヘッド F_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値
19	D1106	ワード	変位センサヘッド A_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
20	D1107	ワード	センサヘッド A_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値
21	D1108	ワード	センサヘッド B_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
22	D1109	ワード	センサヘッド B_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値
23	D1110	ワード	センサヘッド C_基準_現在値+0	ゼロリセット後の値
24	D1111	ワード	センサヘッド C_基準_現在値+1	ゼロリセット後の値

7.2 デバイス一覧(ワードアドレス)

その他の使用デバイスは GX-WORKS2のローカルデバイスコメントを参照してください。